

高萩市議会は、上君田地内を指定 廃棄物最終処分場候補地として 選定したことに、**白紙撤回を断固 求めます!!**

マスコミ報道等で既にご存じとは思いますが、高萩市大字上君田地内の国有林野を県内で排出された高濃度放射性セシウムを含む指定廃棄物の最終処分場候補地として選定したことを、平成24年9月27日に環境省の横光副大臣が高萩市を訪れ、市長に伝えた。これは、突然の候補地選定の話しでした。

高萩市民は東日本大震災による被害の復旧、放射性物質による汚染や風評被害に日々苦しみながらも、地場産業の復興、発展に希望を見出しているところであり、このような状況における今回の本候補地の選定は、市民の感情を踏みにじるものであり、到底応じられるものではありません。

高萩市議会は当日のうちに議会全員協議会を開催し、市長から経緯の説明を受け、今後の対応について協議しました。10月1日には候補地とされた上君田地内の現地調査を行い。10月3日に臨時会を開催し、「**指定廃棄物の最終処分場候補地の白紙撤回を求める意見書**」を全会一致で可決し翌日10月4日に、市長と議長が民主党本部、環境省を訪れ、内閣総理大臣、環境大臣、衆議院議長及び参議院議長あてに意見書を提出いたしました。放射性物質汚染対処特措法によ



10月1日最終処分場候補地とされた上君田地内を現地調査

ると、茨城県内で発生した、指定廃棄物や農林業系副産物等可燃性廃棄物の処理を進めるためには、県内のいずれかの場所において、最終処分場の設置が必要になるということです。

しかし、上君田地内の最終処分場候補地は、上水道及び工業用水道の取水口である花貫川の源流地域であり、また、農業用水の水源でもあります。

生活、商業、工業、農業と高萩市全域に及ぼす影響ははかり知れません。

高萩市議会は、このような住民の不断の努力や、安全安心を希求する切なる思いを踏みにじる、今回の処分場候補地の選定には、断固抗議し、今後も、**市民の皆様と共に市一丸となって、白紙撤回を強く求めてまいります。**

意見書

平成24年第3回臨時会（10月3日）に議員提案として意見書が提出され、全会一致で原案のとおり可決されました。

指定廃棄物の最終処分場候補地の白紙撤回を求める意見書

平成24年9月27日、環境省の横光克彦副大臣が来庁し、地元自治体に一切の相談もなく、指定廃棄物の最終処分場候補地を高萩市上君田地内の国有林野としたことが、初めて明らかになった。

放射性物質汚染対処特措法において、放射性セシウム濃度が8,000Bq/kgを超える指定廃棄物（ごみ焼却灰、下水汚泥等）は、国が責任をもって処分するものとし、基本方針で指定廃棄物の処理は当該指定廃棄物が排出された都道府県内で行うものとしている。

茨城県内各地で発生した、多量の指定廃棄物や農林業系副産物等可燃性廃棄物の処理を迅速に進めるためには、茨城県内のいずれかの場所において、最終処分場の設置が必要になるということである。

しかしながら、本市においては、東日本大震災による被害の復旧、復興に邁進し、住民は心身ともに疲弊した中で、観光、商工、農産物等の風評被害に苦しみながらも、地場産業の復興、発展に希望を見出しているところである。このような状況における今回の本候補地の選定は、こうした住民の不断の努力や、安全安心を希求する切なる思いを踏みにじるものであり、到底応じられるものではない。

なお、今回示された候補地は、市内全域に給水している上水道及び工業用水道の取水口である花貫川の源流地域である。また、農業用水の水源でもあり、生活、商業、工業、農業と高萩市全域に及ぼす影響は多大である。加えて近隣には、ボーイスカウト日本連盟がキャンプや野外活動、指導者の訓練など、日本全国からボーイスカウト関係者が集う活動拠点として整備を予定している山林約271haがある。

本市は、環境都市宣言を行い、環境基本条例によって、環境を保全し、豊かで快適な環境を創り、将来の世代に引き継いでいく責務を担っている。国有林といえども、いきなり候補地として指定されるのは甚だ遺憾であり、受け入れられるものではない。

よって、本市議会は、高萩市上君田地内の国有林野を指定廃棄物の最終処分場候補地としたことに対し、白紙撤回を求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年10月3日

高萩市議会議長 吉 川 道 隆

内閣総理大臣、環境大臣、衆議院議長、参議院議長 あて



10月4日 園田環境副大臣に意見書を提出する

指定廃棄物最終処分場候補地選定に係る経緯（平成24年10月16日現在）

- 9月27日 環境省横光副大臣が高萩市役所を訪れ、上君田地内の国有林野を指定廃棄物最終処分場候補地としたことを提示。
高萩市議会は議会全員協議会を開催し、執行部から経緯説明を受け、受け入れ反対を確認。さらに臨時会を開催し、受け入れ反対の意見書を関係機関に提出することとした。
- 10月1日 議会運営委員会、議会全員協議会を開催し、意見書について審議した。また、候補地の現地調査を実施した。
- 10月3日 平成24年第3回臨時会を開催し「指定廃棄物の最終処分場候補地の白紙撤回を求める意見書」を全会一致で可決した。
- 10月4日 議長が市長とともに、民主党本部、環境省を訪問し、内閣総理大臣、環境大臣、衆議院議長、参議院議長あて意見書を提出。
- 10月10日 議長が市長とともに栃木県矢板市長を訪問し、最終処分場候補地問題について、共同で取り組むことを確認。
- 10月15日 議長が茨城県知事に、指定廃棄物の最終処分場候補地に高萩市が選定されたことについて、要望を行いました。